

## NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について(基本方針案の要点)

本委員会では、「これからの学術情報システムの在り方について」(平成 27 年 5 月 29 日)のとおり、電子情報資源のデータの管理・共有機能の強化と並んで、NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化を当面の課題と位置付けています。現時点における検討状況の概要をお伝えします。

### 1. NACSIS-CAT 軽量化・合理化のポイント

これからの学術情報システムには、電子情報資源・印刷体資料の区別なく、ユーザーが必要とする学術情報を統合的に発見し、迅速にアクセスできる環境を提供することが求められます。その中で、印刷体の図書・雑誌の目録作成機能を担う NACSIS-CAT/ILL の位置付けを整理し、以下のような軽量化・合理化の方策を検討しています。

#### (1) 総合目録的機能の実現方法の見直しによる軽量化

書誌利用(検索)機能と、NACSIS-CAT が担う書誌作成機能とを分離し、かつ NACSIS-CAT により作成すべき書誌情報を精査することで、システムの軽量化を実現。

#### (2) 他機関・組織が作成・提供するデータの有効活用による効率化

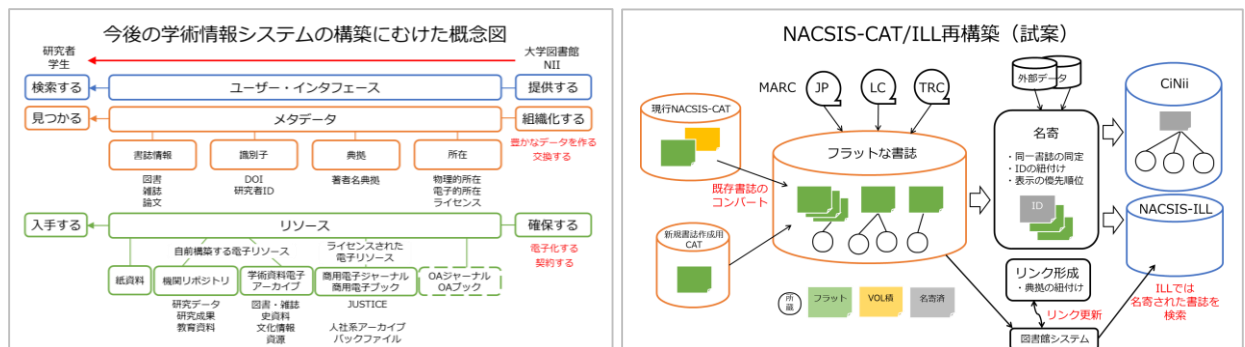
外部 MARC の、参照ファイルとしての利用から直接利用への変更等。

#### (3) 他機関・組織が作成・提供するデータとの連携の強化

NACSIS-CAT 固有のデータベース構造・入力基準等の見直し。書誌レコード作成単位、書誌レコード間リンク等の見直し。

#### (4) 品質管理(重複排除)の合理化

自動的書誌同定技術の活用と管理体制の再整備。



\*注) この概念図は試案です。今後の検討によって変更があります。

### 2. 移行スケジュール(案)

(1) 2020 年からの新システムの運用開始を目指します。

(2) 大学図書館のシステム対応や業務体制の整備、関係諸機関との調整には時間を要するため、新システム運用開始後も現行システムの利用を可能とし、5 年程度をかけて段階的に新システムへの移行を進めることとします。

### 3. 当面の検討スケジュール

以上の方針については、各協(議)会での十分な検討を踏まえたうえで NACSIS-CAT/ILL の参加館の合意を早急に図る必要があります。そのための日程として以下を予定しています。

(1)2015 年 11 月 各協(議)会への軽量化・合理化の「基本方針案の要点」の提供。

(2)2016 年 2 月 「連携・協力推進会議」で、「基本方針案」協議。

(3)2016 年 6 月 各協(議)会での検討や参加館の意見集約を経て大学図書館側での基本方針案の承認。

(4)2016 年 7 月 「連携・協力推進会議」で基本方針の了承。2020 に向けた具体作業開始。

各協(議)会での検討に資するため、本委員会及び作業部会における最新の検討状況を以下でご提供しますので、適宜ご参照ください。

<http://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/>